

つきたい力

- ・言語能力、情報活用能力の育成
- ・いくつかある情報を分析・考察、発信できる力の育成

取組みの概要・ポイント

- ・本とICTを活用した授業での取組み
- ・本に触れる機会、本を読む機会など本との出会いを意識した本に親しむ場づくり

具体的な取組みの内容

学校図書館を活用した授業づくり

重点目標 ①複数の資料からデータの選択ができるようになる



○分析・考察のためのスモールステップの設定
最終目標として、複数の資料から根拠をもって、自己の考えを明確に持つことができる子どもの育成をめざす。

- ① 複数の資料から、必要なものを取捨選択する。
- ② 分析、考察は穴埋め形式から始める。
- ③ 分析、考察した内容をグループ内で発信・共有する。
- ④ 根拠をもって、自己の考えを明確にする。

○図書館資料とタブレットの併用
・生徒が本とICT、それぞれの良さを理解し、情報を自ら取捨選択する力を育成する授業の設定。

○情報カードの活用
・情報を取捨選択、まとめる際に情報カードを使用。情報カードには利用した本やネットの出典先なども記入。教科ごとに自由にアレンジして活用。

○市立図書館との連携
・授業の単元や内容に沿った本を借り入れた。豊富な資料本のもと授業を計画。



取組みの様子

本に親しむ場づくり

○図書委員会発案・運営で行った取組み

○古本市の実施
家で読まなくなった本を学校に寄付してもらい、その本を誰でも自由に読める環境を整えた。図書委員が中心となって取組みを進め、各学年のフロアにミニ図書館となる本棚を設置した。

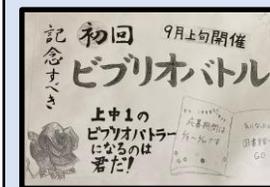


○放課後の開館
放課後にも図書館を開館。本を借りたり読んだりはもちろん、自習室としても利用できるよう、スクールサポーターを配置した。



○朝読書の実施
毎朝10分間は朝読書を実施。自分で本を持参したり、学級文庫の本を読み、毎朝落ち着いた気持ちで1時間目の授業が始められている。

○その他の取組み
図書だよりや、おすすめ本の展示など、様々なアイデアを持ち寄り活動している。



取組みを通しての子どもの変容

- ・生徒アンケート結果より「本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり話したりしている」の項目で肯定的回答が令和4年度73%⇒令和5年度11月78%に上昇している。
- ・情報収集の際に、インターネットの情報だけに頼るのではなく、改めて本の良さに回帰し、積極的に本を活用して取り組んでいた。